【参考資料】

大阪市におけるHIV・エイズ対策を取り巻く現状

1 新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数の推移

○大阪市

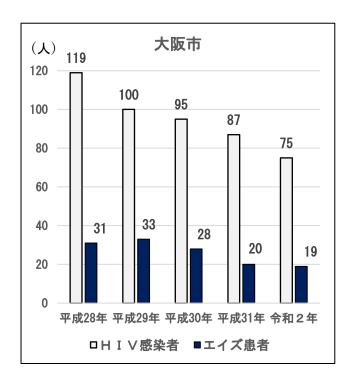
	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
H I V感染者	119 人	100 人	95 人	87 人	75 人
エイズ患者	31 人	33 人	28 人	20 人	19 人
合計	150 人	133 人	123 人	107 人	94 人

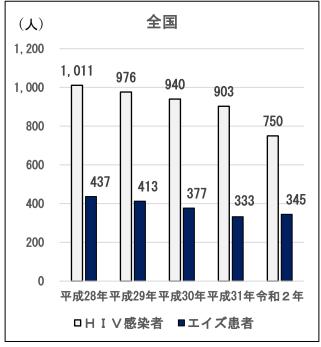
○大阪府

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
H I V感染者	140 人	121 人	116 人	105 人	89 人
エイズ患者	48 人	51 人	41 人	34 人	25 人
合計	188 人	172 人	157 人	139 人	114 人

○全国

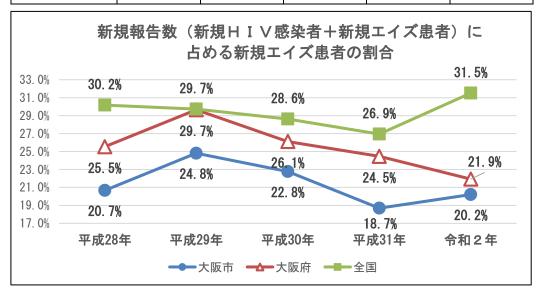
	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
H I V感染者	1,011人	976 人	940 人	903 人	750 人
エイズ患者	437 人	413 人	377 人	333 人	345 人
合計	1,448人	1,389人	1,317人	1,236人	1,095人





2 新規報告数 (新規HIV感染者+新規エイズ患者) に占める新規エイズ患者の割合

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
大阪市	20. 7%	24.8%	22. 8%	18.7%	20. 2%
大阪府	25. 5%	29. 7%	26. 1%	24.5%	21. 9%
全国	30. 2%	29. 7%	28.6%	26. 9%	31. 5%



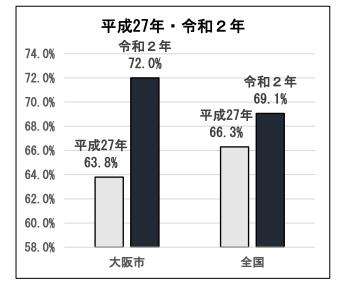
3 新規HIV感染者報告数に占める20歳代・30歳代の割合

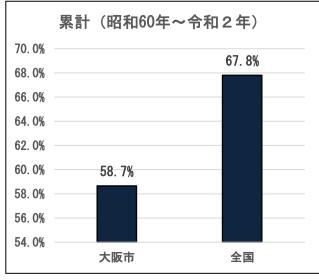
○令和2年(比較:平成27年)

	H I V感染者	20 歳代・ 30 歳代合計	内	訳	20 歳代・	(参考)
	報告数		20 歳代	30 歳代	30 歳代割合	平成 27 年
大阪市	75 人	54 人	31 人	23 人	72.0%	63.8%
全国	750 人	518 人	266 人	252 人	69. 1%	66. 3%

○累計(昭和60年から令和2年まで)

	HIV感染者	20 歳代・	内詞	20 歳代·		
	報告数	30 歳代合計	20 歳代	30 歳代	30 歳代割合	
大阪市	3,028 人	1,776人	860 人	916 人	58. 7%	
全国	22, 489 人	15,247 人	7,482 人	7,765人	67. 8%	





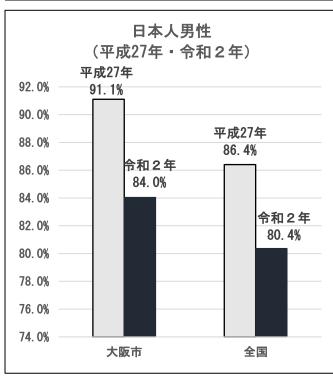
4 新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数に占める日本人男性と外国人男性の割合

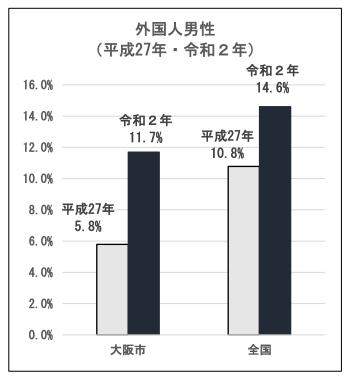
○令和2年(比較:平成27年)

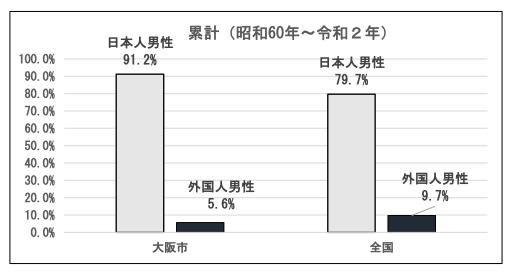
Ī		HIV感染者		日本人男性			外国人男性	
		報告数・ エイズ患者 報告数	報告数	全報告数 に占める 割合	(参考) 平成 27 年	報告数	全報告数 に占める 割合	(参考) 平成 27 年
ſ	大阪市	94 人	79 人	84.0%	91.1%	11 人	11.7%	5.8%
Ī	全国	1,095人	880 人	80.4%	86.4%	160 人	14.6%	10.8%

○累計(昭和60年から令和2年まで)

	HIV感染者 報告数・	日本	人男性	外国人男性	
	エイズ患者 報告数	報告数	全報告数に 占める割合	報告数	全報告数に 占める割合
大阪市	3,028 人	2,761 人	91. 2%	171 人	5.6%
全国	32,480 人	25,886 人	79. 7%	3,163 人	9.7%







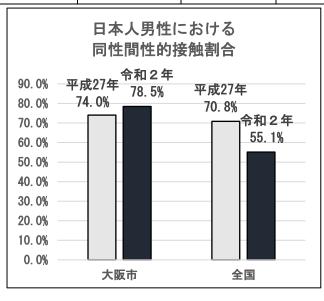
5 新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数のうち日本人男性・外国人男性に占める同性間性的接触の 割合

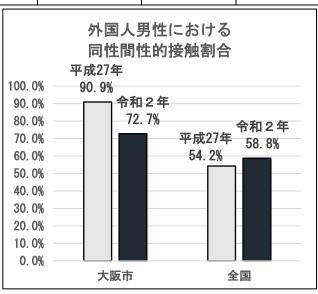
○令和2年

		日本人男性			外国人男性		
		H I V・エイ ズ患者報告数	うち同性間 性的接触	同性間性的 接触割合	H I V・エイズ 患者報告数	うち同性間 性的接触	同性間性的 接触割合
Ī	大阪市	79 人	62 人	78. 5%	11 人	8人	72. 7%
Ī	全国	880 人	485 人	55. 1%	160 人	94 人	58.8%

○ (参考) 平成 27 年

		日本人男性			外国人男性		
		H I V・エイ ズ患者報告数	うち同性間 性的接触	同性間性的 接触割合	HIV・エイ ズ患者報告数	うち同性間 性的接触	同性間性的 接触割合
Ī	大阪市	173 人	128 人	74.0%	11 人	10 人	90. 9%
	全国	1,239 人	877 人	70.8%	118 人	64 人	54. 2%

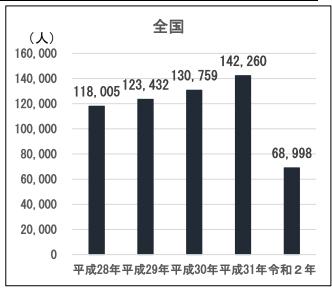


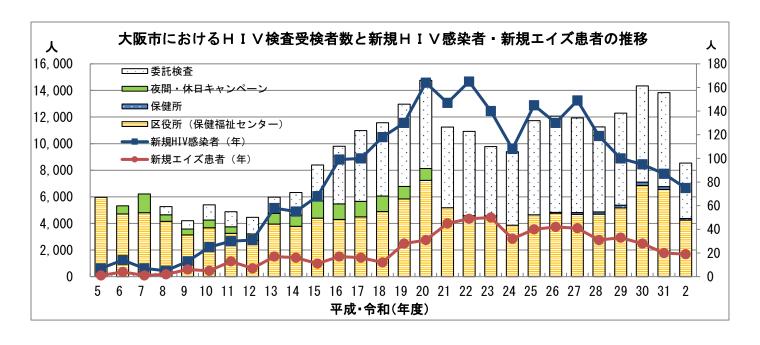


6 保健所等におけるHIV検査受検者数推移

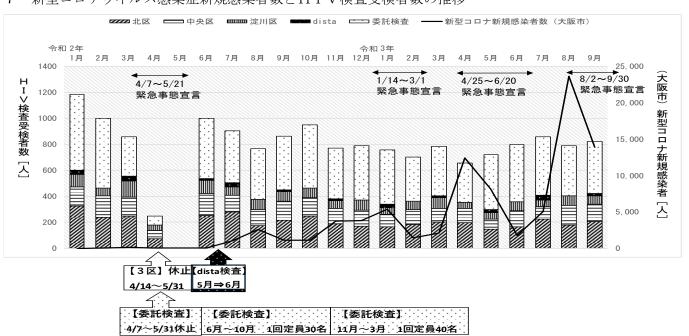
	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
大阪市	11,264 人	12, 295 人	14,342 人	13,833 人	8,540 人
全国	118,005 人	123, 432 人	130,759 人	142, 260 人	68, 998 人







7 新型コロナウイルス感染症新規感染者数とHIV検査受検者数の推移



8 大阪市におけるMSMのHIV検査受検者数推移(推計値)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
大阪市	2,605 人	2,774 人	2,957 人	3,258 人	2,377 人



9-1 大阪市における新規HIV感染者・新規エイズ患者報告の状況について(累計)

(平成元年2月17日~令和2年12月31日)

(1) 年次別推移

区分	新規HIV 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
~平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成 10 年	25	5	30
平成 11 年	30	13	43
平成 12 年	31	7	38
平成 13 年	58	17	75
平成 14 年	55	16	71
平成 15 年	68	11	79
平成 16 年	99	17	116
平成 17 年	100	16	116
平成 18 年	118	12	130
平成 19 年	130	28	158
平成 20 年	164	31	195
平成 21 年	147	45	192
平成 22 年	165	49	214
平成 23 年	140	50	190
平成 24 年	108	32	140
平成 25 年	145	40	185
平成 26 年	130	42	172
平成 27 年	149	41	190
平成 28 年	119	31	150
平成 29 年	100	33	133
平成 30 年	95	28	123
平成 31 年	87	20	107
令和2年	75	19	94
合 計	2, 405	623	3, 028

注)後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後 (平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法律」に統合)血液凝固因子製剤が原因とされる方は、 法による報告から除外されています。

(2) 感染経路別<累計>

区分	新規HIV 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
異性間性的接触	285	119	404
同性間性的接触	1, 916	389	2, 305
静注薬物使用	6	1	7
母子感染	2	1	3
凝固因子製剤 (注)	0	0	0
その他	47	22	69
不明	149	91	240
合 計	2, 405	623	3, 028

(3)年龄区分<累計>

区分	新規HIV 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計	
20 歳未満	29	2	31	
20 歳代	860	76	936	
30 歳代	916	181	1, 097	
40 歳代	420	185	605	
50 歳代	110	121	231	
60 歳以上	70	58	128	
合 計	2, 405	623	3, 028	

(4) 国籍・性別<累計>

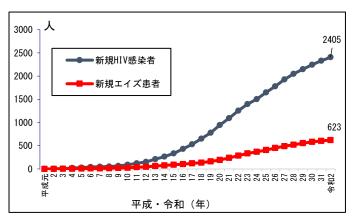
区分	新規HIV 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
日本人 男性	2, 183	578	2, 761
日本人 女性	39	7	46
その他・不明 男性	146	25	171
その他・不明 女性	37	13	50
合 計	2, 405	623	3, 028

(5) 感染経路別<累計>

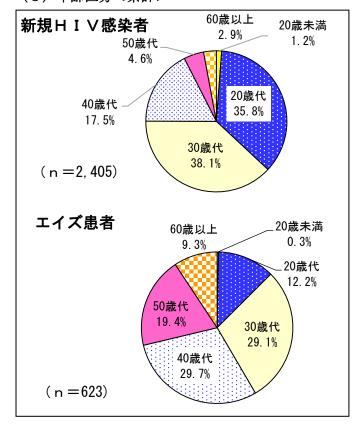
区分	新規HIV 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
国 内	2, 151	506	2, 657
海外	100	34	134
不 明	154	83	237
合 計	2, 405	623	3, 028

(平成元年2月17日~令和2年12月31日)

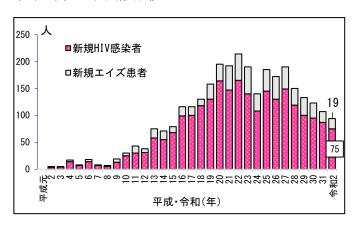
(1) 年次推移<累計>



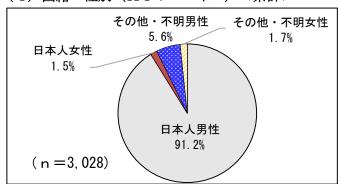
(3) 年齢区分<累計>



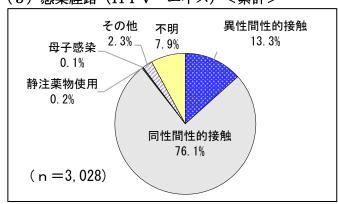
(2) 年次別届出数推移



(4) 国籍・性別 (HIV・エイズ) <累計>



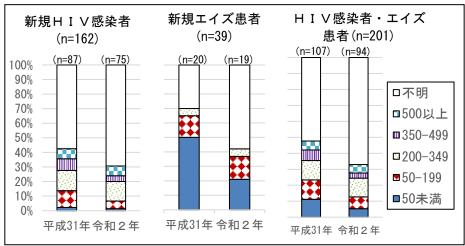
(5) 感染経路(HIV・エイズ) <累計>



(6) 感染地域別 (H I V・エイズ) <累計>



(7) 新規報告における診断時CD4値の分布<平成31年・令和2年> ※平成31年1月1日から発生届に診断時のCD4値が追加された。



参考資料 - 7 -

大阪市におけるエイズ対策 (沿革)

年 度	西曆	検査、相談、普及啓発関係等	備考
昭和57年度	1982		・ エイズ(AIDS)と命名
昭和60年度	1985		・ エイズの原因ウイルス発見(HIVと命名)
			・ 日本で最初のエイズ患者認定
昭和61年度	1986	・ 24区各保健所でのHIV抗体検査・相談開始	・ エイズパニック(長野松本報道)
昭和62年度	1987		・ エイズパニック(神戸・高知報道)
昭和63年度	1988	・ 24区各保健所におけるHIV抗体検査匿名受付開始	・ 第1回世界エイズデー
平成元年度	1989		・エイズ予防法施行
平成2年度	1990	・ エイズ予防週間事業(大阪府・他都市との共同事業)開始	
平成3年度	1991	・ 大阪府下の感染者・患者数の発表開始	
平成5年度	1993	・ 24区各保健所におけるHIV抗体検査無料・匿名受付開始	
		・ 一般向け啓発冊子「エイズのはなし」発刊開始(平成26年度から「エイズ情報 NOW」へ変更。大阪府・他都市との共同事業)	
		・ 新聞折り込み開始(~平成20年度)	
		・民間医療機関従事者への教育研修開始	
		・個別施策層への予防啓発事業開始	
		・ エイズ予防啓発ラジオ放送等事業開始	
平成6年度	1994	・ HIV夜間検査受検促進キャンペーン開始(~平成19年度)	・ 第10回国際エイズ会議開催(横浜)
		・ HIV夜間検査受検促進キャンペーン用ポスター開始(~平成19年度)	
		・ テレホンサービス開始(~平成17年度)	
		・ 地域におけるエイズ普及啓発活動開始(~平成18年度)	
		・ トリオホンを活用した外国人への相談対応開始 ※1	
		・ 神戸市、京都市との3市共同エイズ予防啓発事業開始 (京都市: ~平成15年度、神戸市: ~平成17年度)	
平成7年度	1995	・ 青少年向けエイズ情報誌「アジェンダ」発刊開始(~24年度)	
平成8年度	1996	・ 木曜日夜間常設HIV抗体検査開始(場所: 西区。 大阪府との共同事業)	
		・ エイズ専門相談事業開始 ※2	
		・ 外国語によるエイズ電話相談事業開始	
平成11年度	1999		・ 感染症法施行・エイズ予防法の廃止
			後天性免疫不全症候群に関する特定感 染症予防指針の策定
平成13年度	2001	・ 24区各保健センターでのHIV抗体検査に性感染症検査(梅毒・クラミジア)を追加	
		・ 思春期24時間電話情報提供(青春ほっとダイヤル)開始(~24年度)	
平成14年度	2002	・ 土曜日昼間常設HIV抗体検査開始(場所:北区。大阪府との共同事業)	
平成15年度	2003	・ 青少年に対する予防啓発事業「ヤング・シェアリング・プログラム」開始(〜平成17年度)	
平成16年度	2004	・ 木曜日夜間常設及び土曜日昼間常設HIV抗体検査に性感染症(梅毒・クラミジア)を追加	
平成17年度	2005		・ 第7回アジア太平洋地域エイズ国際会議 (神戸)
平成18年度	2006	・ 日曜日昼間常設即日HIV抗体検査開始(場所:中央区。大阪府との共同事業)	後天性免疫不全症候群に関する特定感 染症予防指針の改定
			• HIV検査普及週間開始
平成19年度	2007	・ 大阪市エイズ対策基本指針(平成19年6月~24年3月)の策定	

年 度	西曆	検査、相談、普及啓発関係等	備 考
平成20年度	2008	・ 24区保健福祉センターでのHIV抗体等検査体制を北区・中央区・浪速区・淀川 区の4区保健福祉センターに集約	・ 北海道洞爺湖サミット開催(国際保健に 関する洞爺湖行動指針提言)
		・ 日曜日昼間常設即日及び土曜日昼間常設HIV抗体等検査の場所を浪速区の chot CASTなんばに移転。また土曜日の性感染症検査の項目をクラミジアからB 型肝炎に変更	
		 金曜日夜間常設HIV等検査開始(場所:chotCASTなんば。市単独。なお大阪府は火曜日を単独実施) 	
平成21年度	2009	 火曜日・金曜日夜間常設、HIV・梅毒・B型肝炎検査開始(場所: chotCASTなんば。大阪府との共同事業) 	・ 新型インフルエンザ流行
		・ 4区保健福祉センターでのHIV抗体等検査体制を北区・中央区・淀川区の3区保 健福祉センターに集約	
		・ 土曜日昼間常設HIV抗体等検査事業休止(10月~)	
平成22年度	2010	・ 土曜日昼間常設HIV抗体等検査事業再開(7月~)	
		・ chotCASTなんばHIV抗体等検査事業休止(3月~)	
平成23年度	2011	 chotCASTなんばHIV抗体等検査事業再開(5月~) また、金曜日夜間常設HIV等検査を木曜日に変更 HIV陽性者支援用パンフレット「たんぽぽ」発刊開始(大阪府・他都市との共同事業) 	・ 後天性免疫不全症候群に関する特定感 染症予防指針の改定
		・ 第2次大阪市エイズ対策基本指針(平成24年4月~29年3月)の策定	
平成24年度	2012	・ エイズ啓発講座の講師派遣事業を開始(10月~)(~令和元年12月まで) ※3	
		・ MSMの中高年向け季刊誌「南界堂通信」発刊開始	
		・ 中学生・高校生向け啓発冊子「エイズのはなし」発刊開始	
		・ 青少年向けHIV普及啓発ポスター作成(~27年度)	
平成25年度	2013	・ 3区保健福祉センターでのHIV抗体検査をHIV抗原抗体検査へ変更	・ 献血による輸血用血液のHIV感染事例が 大きく報道される
		・ 土曜日昼間常設HIV抗体等検査事業を即日検査へ変更	
		 土曜日昼間常設即日及び日曜日昼間常設即日HIV抗体等検査事業の定員を拡大(12月~) 	
平成26年度	2014	・ 北区水曜のHIV等検査事業を午前から午後へ変更	
		・ コミュニティセンターを活用したMSM対象のHIV等検査の試行実施開始	
平成27年度	2015	・ 3区保健福祉センターでのクラミジア検査を病原体検査(尿検査)へ変更	
平成28年度	2016	・ 中央区保健福祉センターでのHIV抗体等検査事業に即日検査を導入	
		・ 日曜日昼間常設即日HIV抗体等検査事業に携帯端末からの予約制を導入	
平成29年度	2017	・ chotCASTなんばの土日検査項目に梅毒が追加 3月にchotCASTなんばからchotCASTへ名称変更し、なんばから心斎橋に移転	後天性免疫不全症候群に関する特定感 染症予防指針の改正
		・ 第3次大阪市エイズ対策基本指針(平成29年10月~34年3月)の策定	
平成30年度	2018	・ 北区の検査日程を変更。北区が第5金曜日に夜間検査を開始	・ 発生届に診断時のCD4陽性Tリンパ球 (CD4値)の記載が追加
		・ Twitterアカウント「大阪市保健所HIV・性感染症ナビ」より情報発信を開始	
		・中学生・高校生向け啓発冊子「エイズのはなし」の指導の手引きの作成、教育委員会への提供開始	
		・ コミュニティセンターを活用したMSM対象のHIV等検査の直営検査開始	
令和元年度	2019	・ chotCASTのJHCが解散し日曜日の検査もスマートらいふクリニックが実施	
令和2年度	2020	・ 告知時の通訳業務依頼を開始	・ 新型コロナウイルス感染症流行
		・ chotCASTが木曜日の即日検査を導入	

[・]機構改革により、平成12年度から1保健所24区保健センターに、平成15年度から1保健所24区保健福祉センターとなる

^{※1} トリオホンを活用した外国人への相談対応:外国語の通訳を間に入れた3者による電話の相談対応

^{※2} エイズ専門相談事業:エイズに関する知識と経験を持ったカウンセラーによる専門相談

^{※3} エイズ啓発講座の講師派遣事業:各区保健福祉センターからの要請により、エイズに関する正しい知識等の講座開催にかかる講演資材の提供、 技術的支援、講師派遣を行う。令和元年12月にJHCが解散し、以降講師派遣は中止。ただし、講演資材の提供や技術支援は継続